

園の自己評価

※利用者アンケートの結果を基に職員と園長が面談をお行い、当園に対する意識や課題、その他改善策等を聞き取り、総合的に判断し園長がまとめたものを当園の自己評価とする。

1. 保育理念について

“いっしょっていいね” ふるさと保育を主題に掲げ、その中で保育者一人ひとりが「温かい保育」を実践することができた。職員間でも意識を高め会議等でそれぞれの保育の目的や内容の共有に努めている。

2. 保育内容について

法人の理念「愛の精神」のもと、子どもとじっくりと向き合い、保護者に寄り添い、一人ひとりの気持ちを大切に温かい保育を実践することができた。また、保護者にも保育に参加していただく機会を設けて、当園の行っている日々の保育を身近で感じていただき、アンケートの結果からもご理解をいただいているものと感じる。

3. 配慮、支援が必要なお子さんについて

月に一度、臨床心理士の繁多進先生にお越しいただき、クラスの中で気になるお子さんや関わりが難しいお子さんに対して様子を見ながら適切にアドバイスをいただき、丁寧な関わりができた。また、ケース会議にも参加していただくことで、園全体で周知することができ一貫した関わりができたことは配慮が必要なお子さんにとっても安心して過ごせる環境になったと感じている。保護者にも必要に応じて繁多先生とゆっくりとお話ができる育児相談があることを伝え、子育てや関わり方に悩む保護者へ適切なアドバイスを頂けることは安心感へも繋がった。

4. 行事について

園児や保護者、その他参加者に園児の成長が感じられるような行事になるように職員間で話し合っている。また、行事实施後に保護者へアンケートを実施し、参加者の率直な意見を伺い、次の行事の参考にさせていただいている。全ての意見を取り入れることは難しいが、ご意見を聞き検討することで新しい発見も見つかり行事の質も上がっている。何よりも行事に参加した園児や保護者の笑顔がたくさんあったことがとても嬉しいことであった。

5. 地域子育て支援について

地域子育て事業は課題も多く残った。特にふれあいサロン夢列車は内容を吟味して地域の方に喜んでいただけるプログラムを用意していたが、ホームページの活用や情報発信力が弱く、たくさんの方に周知をすることができず、参加者が少なかった。実際に参加した方からは好評だったので、翌年度以降の課題としていく。多くの方に当園に足を運んでいただき、人と人との繋投げる役割を意識して子育て支援へと繋げていきたい。

6. 職員の連携、役割分担について

週案会議、職員打ち合わせ、ケース会議等で定期的に保育の振り返りや子どもの姿など職員間で話し合う機会を多く持ち、ベター保育に繋がった。職員一人ひとりの考えの違いもあったが、話し合うことで良い落としどころをみんなで考え共通の理解の元で対応することができた。また、職員の日々の業務に追われ、職員の表情が硬くなってしまうこともあった。来年度以降、少しでも業務の軽減を図れるよう保育アプリ「ルクミー」の使用を開始する。

7. 保育の質の向上について

東京都キャリアアップ研修等の外部研修に職員が自ら調べ、参加したい研修に参加できるように配慮した。また、研修に参加した職員には打ち合わせで研修の内容や感想など発表する機会を設けた。参加できなかった職員の知識の向上に繋がると共に責任をもって発表することで参加した職員の意識を高めることができた。今後も外部研修に参加する機会を多く確保し職員の質の向上に努めていきたい。

8. 園長総評

職員一同で『温かい保育』を目標に掲げ実践していることもあり、子ども達は保育者ととても良い関係にあり日々穏やかに保育園生活を送っている。また、保護者ともより良い関係を築けるように連絡を丁寧に行い、共に保育行事に参加していただき当園の保育活動を理解していただいている。保育では日の活動に合わせて散歩先を柔軟に決め、子供たちの成長や興味に沿って戸外活動の充実を図っている。時に商店街や図書館、消防署や交番等地域資源を活用してそこで働く人との交流を図ることができた。毎月行っている避難訓練では様々な状況を想定して取り組んでいる。訓練の結果を職員で話し合いより良い避難の方法を考える。その姿勢を見せることで子ども達の防災意識も高まってきたことが感じられた。日々の業務を丁寧に行う反面、保育者の負担も増えているので、来年度より保育アプリ「ルクミー」を利用して職員の業務の効率化や負担軽減につなげていきたい。少しでも時間ができることによって子どもと向き合える時間が確保していく。保育者の退職については利用者に不安を与えている。それぞれの事情もあり仕方がない部分もあるが、今後も丁寧な関わりと温かい保育で安心して通える保育園を指していく。また、地域に向けた活動は前年度からの課題となっていたが、今年度も結果として集客数を増やすことができなかった。地域福祉ステーションの役割を果たせるよう人と人との繋げる役割を意識して子育て支援を進めていきたい。